

治安維持法・京都学連事件 100 周年事業のご案内

逆流に抗して、自由を求めた青年たち―

治安維持法国内適用第 1 号の「京都学連事件」100 周年を問う

2025 年は治安維持法が施行されて 100 年目の節目に当たります。国民の自由を大きく制限したこの法により、各地で働く若者や大学生への苛烈な弾圧が行われました。

「スパイ防止法」の立法化が現実味を帯びつつある現在、かつての事件を振り返りつつ、今後に生かすべく、下記のような内容でシンポジウムをひらきます！

と き **2025 年 12 月 13 日 13 時～16 時 30 分**

会 場 **立命館大学朱雀キャンパス**（J R 二条駅近く）

内 容

- ① 基調報告：勝村 誠 立命館大学政策学部教授
- ② 国境を越えたエスパンチスト・長谷川テル：西田 千津
奈良・長谷川テル顕彰の会推進委員
- ③ 淡徳三郎の「フランス人民戦線」などの通信活動：佐藤 和夫
京都の民主運動史を語る会世話人
- ④ 反ファッショの学生運動：広川 禎秀 大阪公立大学名誉教授
- ⑤ 大学自治の現在と学術会議の危機：科学者会議京都支部

司会・コーディネイター／井口 和起（事業実行委員会呼びかけ人）

■会 費 資料代 500 円 ZOOMと対面のハイブリッド形式で

ZOOM 参加を希望される方は、下記のアドレスに

- ①お名前 ②所属先 ③電話 ③あなたの
メールアドレスをお知らせください

mizuki@cream.plala.or.jp

問い合わせは、実行委員会事務局 井手まで

京都学連事件・治安維持法 100 周年事業実行委員会

